

## 第2期 関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

「関市人口ビジョン（H27 策定）」で推計した人口減少の課題を解決するために「関市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27～R元）」（以下「第1期総合戦略」という。）を策定し、地方創生に関する5年間の取組をスタートさせました。このたび、第1期総合戦略が計画期間の満了を迎えることから、第1期総合戦略の基本的な方針を引き継ぎ、さらに時代に適合した新たな視点を盛り込んだ「第2期関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」という。）を策定しました。

### 1 基本的な考え方

#### （1）第2期総合戦略の位置付け

- 第2期総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき策定します。
- 国及び県の総合戦略を勘案し、本市の地方創生に関する取組をまとめた計画であり、人口減少社会の克服とまちの活力創出を図ります。
- 第2期総合戦略は、前戦略から引き継ぐ4つの方針と新たな視点を踏まえ策定しました。

#### <4つの方針>

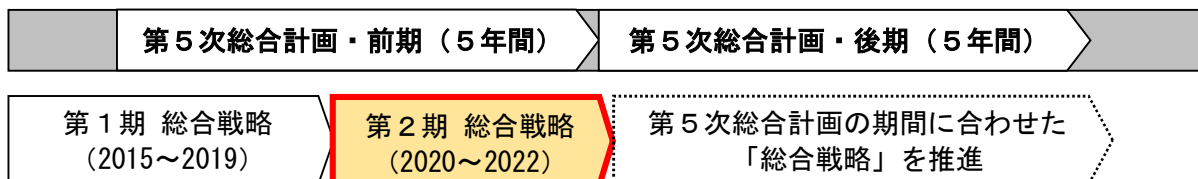
①しごとの創出	②新しい人の流れの創出
③若い世代の結婚・出産・子育ての支援	④時代に合った暮らしの創造
<p>&lt;新たな視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材の育成 ●創業・活躍の支援 ●関係人口の創出 ●地方への資金の流れを強化</li> <li>●若者のチャレンジ支援 ●誰もが活躍できる環境の整備 ●Society5.0やICTの活用</li> </ul>	

#### （2）計画期間 3年間（令和2年度（2020年度）～令和4年度（2022年度））

第1期総合戦略は5年間で推進しましたが、第2期総合戦略は第5次総合計画・前期基本計画（2018～2022年度）との整合性を図るため、3年間へと計画期間を短縮しました。また、総合戦略の具体的な事業や数値目標（KPI）も総合計画に合わせることで、市の最上位計画との整合性を図るとともに一体的な事業進捗管理を行います。

#### <第2期総合戦略と第5次総合計画との関連>

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	～
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	～



#### （3）推進体制

毎年度、「関市総合計画審議会」において、事業の実施状況の評価・検証を行い、その結果を公表するとともに、PDCAサイクルを活用した進捗管理により取組の改善を図ります。

## 2 戦略の内容

### 基本目標1 産業の振興と人材を育成するまち（しごとの創出）

目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・新たな時代に適合した産業への変革と中小事業所の競争力強化の支援</li><li>・地域経済の好循環の促進</li><li>・誰もが活躍できる仕事の創出</li><li>・個性ある観光戦略の推進</li><li>・農林業の経営安定化と担い手育成</li></ul>
--------	--

#### <主な取組>

刃物ミュージアム回廊整備、新たな工業団地の創出、ものづくりインターンシップ、企業競争力強化支援（IoT支援、デザイン支援）、中山間地域等の農業担い手育成、せきチケ、みんなの就職サポートセンターやセキビズによる支援など

### 基本目標2 魅力を高めて交流・定住・関係人口を増やすまち（新たな人の流れ）

目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・「暮らしと仕事」の情報発信と移住定住に関する支援の充実</li><li>・スポーツ・ヘルスケア、観光・文化、地域体験等をきっかけとした関係人口の増加</li><li>・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用による市域の活性化</li><li>・新たにチャレンジできる環境の整備とまちの活力向上</li></ul>
--------	---

#### <主な取組>

シティプロモーション、ゴルフツーリズム、ふるさと会員制度、農林業ふるさとワーキングホリデー、企業版ふるさと納税、古民家整備、横丁整備など

### 基本目標3 子どもを生み・育てやすく、誰もが活躍できるまち（若い世代の支援）

目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・男女の出会いの奨励と結婚の支援</li><li>・妊産婦のケアとサポートの充実</li><li>・安心して子どもを産み育てるための子育て支援の充実</li><li>・未来を創る子どもたちの教育の充実</li></ul>
--------	--

#### <主な取組>

結婚相談・婚活イベント、ママサポート券、妊娠お祝い券、子育て応援券、不妊治療費助成、子育て情報のLINE発信、子育てアプリの導入、STEAM教育など

### 基本目標4 時代に合った「ちょうどいい暮らし」ができるまち（時代に合う暮らし）

目指す方向性	<ul style="list-style-type: none"><li>・Society5.0・ICT時代に適合したまちの創出</li><li>・高齢化社会に備えた人材確保と健康づくりの推進</li><li>・市民自治の基盤強化と住民活動の支援</li><li>・新たな時代に適合した施策やSDGsの理念に則った施策の推進</li><li>・誰もが活躍できる環境の整備とダイバーシティの推進</li></ul>
--------	---

#### <主な取組>

自動運転実証実験、キャッシュレス決済支援、介護職U・Iターン補助、クアオルト事業、高齢者免許返納サポート事業、市制70周年記念事業、女性活躍セミナーなど

## 3 パブリックコメントの実施

令和2年2月21日（金）～3月23日（月） 32日間のパブリックコメントを実施します。